

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 様

JR 中央西線利便性向上に関する要望書

木曽地域交通網対策協議会
中央西線輸送強化期成同盟会部会

中央西線利便性向上についての要望

中央西線の運行につきましては、日頃から格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

木曽地域は、少子高齢化や若年層の都市部への流出等による人口減少が進行し、自治体財政も一段と厳しさが増す中、地場産業の振興、観光振興対策、生活環境の整備等多くの課題を抱えております。

中でも、中央西線は沿線住民の通勤通学など、日常の生活路線であるとともに、産業経済活動や観光事業の推進においても重要な交通機関として木曽地域の生活に欠かせない存在であります。中央西線のダイヤについては運行本数が限られ、高齢者の通院や買い物、高校生等の通学・通勤の足の確保が十分とはいえない状況です。

観光面では、近年外国人観光客の利用が増加しているとともに、将来的には、2027年開業予定のリニア中央新幹線岐阜県駅への重要なアクセス路線でもあります。

つきましては、私ども木曽地域の実情をご賢察いただき、別記事項の実現・実施が図られますよう格段のご高配を賜りたく、ここにご要望申し上げます。

令和元年 12 月 17 日

木曽地域交通網対策協議会

会 長 瀬戸 普

中央西線輸送強化期成同盟会部会

部会長 原 久仁男

記

1. 通勤・通学の利便性の向上

木曽郡内には木曽福島駅が最寄りの木曽青峰高等学校と南木曽駅が最寄りの蘇南高等学校の2つの高等学校があり、多くの生徒がJR中央西線を利用し通学している。

JR中央西線は、通学等に必要不可欠な交通機関であるとともに、そのダイヤは高等学校(定時制を含む)の学校運営と密接な関連があり、ダイヤにより左右される部分が多い。

そのような中、木曽青峰高等学校においては、木曽福島駅を20時台に発車して中津川駅まで運行する上り列車がないため、部活動等のため19:37の列車に間に合わなかった生徒は、22:36まで駅周辺で待たざるを得ず生徒の安全上好ましくない。

また、南木曽駅着16:19の下り列車が南木曽駅止まりのため、蘇南高等学校の通常授業終了直後に帰宅できる列車がないこと及び同19:19の下り列車も南木曽駅止まりのため、次の列車までそれぞれ1時間以上駅周辺で待たざるを得ず、生徒の安全上好ましくない。

なお、蘇南高等学校では、南木曽駅に到着する上り列車に合わせるため、始業時間が県下で最も遅い8:55になってしまっている。

利便性の向上を図るため、上り列車について上松駅止まりを中津川駅止まりに、下り列車について南木曽駅止まりを塩尻駅・松本駅止まりに改正をお願いするとともに、通勤・通学の時間帯だけでも増便をお願いしたい。

2. 乗り継ぎの待ち時間の解消

中央西線における、郡内の特急停車駅以外の最寄駅を利用する沿線住民は、新宿方面及び長野方面からは塩尻駅で普通列車に乗り継ぐ必要があり、また、名古屋方面からは中津川駅で乗り継ぐ必要があるが、両駅において乗り継ぐ場合に1時間以上の待ち時間となる場合が少なくない。

塩尻駅及び中津川駅における特急から普通列車に乗り換える際の長時間の乗り継ぎ待ち時間の解消をお願いしたい。

3. 利用客の利便性向上

近年はキャッシュレス化が進み、特に外国人観光客は現金をあまり持ち歩かないことから、必ずカード決済を確認される状況である。ICカードによるキャッシュレス利用が一般化している状況もあることから、カード決済への対応及びICカード対応自動改札機の全駅設置、あるいは車載型IC改札機の導入をお願いしたい。

木曾地域交通網対策協議会
中央西線輸送強化期成同盟会部会

構成市町村

木曾町長	原久仁男
上松町長	大屋誠
南木曾町長	向井裕明
木祖村長	唐澤一寛
王滝村長	瀬戸普
大桑村長	貴舟豊
塩尻市長	小口利幸